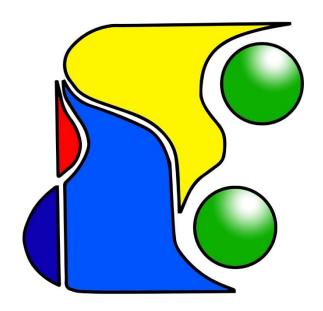


News Letter (October, 2024)



SPACC ニュースレター (2024年10月号)

目次

1. The 29th International SPACC Symposium (SPACC29) 開催報告

北海道大学大学院工学研究院 佐藤 敏文

- 2. The 30th International SPACC Symposium (SPACC30)、ご案内
- 3. SPACC 一般会員および学生会員ご入会のお願い
- 4. 今後の行事予定及び事務局からのお知らせ
- ★賛助会員からのお知らせ

1. The 29th International SPACC Symposium (SPACC29) 開催報告

The 29th International SPACC Symposium (SPACC29) 開催報告

北海道大学大学院工学研究院 佐藤 敏文

The 29th International SPACC Symposium (SPACC29) を2024年9月5~6 日の日程で北海道大学大学院工学研究院フロンティア応用科学研究棟(札幌)にて開催しました。前回のSPACC28はCOVID-19の影響でオンライン開催でしたが、SPACC29は現地開催で行いました。

SPACC29 では基調講演 4 件、受賞講演 1 件、招待講演 12 件、学生奨励賞講演 2 件、招待学生講演 8 件の合計 27 件の口頭発表と 35 件のポスター発表を行い、シンガポール、ナミビア等からの参加も含め合計 78 名の参加者がありました。基調講演は、シンガポール国立大学の Li Lu 教授より Polyanion-based sodium compounds for sodium ion batteries、大阪大学の鈴木修一准教授より Changes in magnetic and photophysical properties of radical ions with temperature-/stimuli-triggered phase transitions、北海道大学の長谷川靖哉教授より Hard and soft lanthanide coordination materials for future photonic applications、関西学院大学の橋本秀樹教授より Control of the function of carotenoids in photosynthesis と題する講演がそれぞれありました。

SPACC29 では Award Lecture として、2023 年度先端錯体工学研究会奨励賞 受賞者の北海道大学 加藤優准教授から Development of Noble Metal-Free Electrocatalysts Inspired by Metalloenzymes と題した講演と、2024 年度先端錯体工学研究会学生研究奨励賞 受賞者の北海道大学 鈴木涼太氏と東京工業大学 大澤泰樹氏からそれぞれ Alkali metal carboxylate-catalyzed polymerization for novel functional polyesters and their applications と Evaluation of inactivation effect and safety of plasma bubble water for application to living organisms と題した講演がありました。

今回の SPACC29 では学生による招待講演とポスター発表も数多く行われ、活発な議論が行われました。慎重な審査の結果、講演賞とポスター賞は以下の学生に贈られました。

講演賞

ISL02 Naoki Sugita (Kogakuin University)

Correlation Between Growth Conditions in Mist CVD Growth of Copper Nitride and Copper Oxides

ポスター賞

PP07 Yu Oishi (Hokkaido University)

Synthesis and microphase separation behavior of hybrid materials consisting of polyhedral

PP13 Shimon Ikenaga (Okayama University of Science)

Spin-Driven Electric Polarization and Dielectric Responses in Valence Tautomeric FeCo Complex

PP25 Yamato Ebii (Hokkaido University)

Structure-property relationships of multicyclic polystyrenes synthesized via cyclopolymerization

PP31 Yu-Jen Shao (Hokkaido University and National Taiwan University)

Synthesis of Triarylamine-Containing Polyesters via Ring-Opening Alternating Copolymerization and their Photophysical Properties

PP33 Chun-Yao Ke (Hokkaido University and National Taiwan University)

Preparation and Systematic Investigation of Degradable Fluorinated Polyesters via Alternating Copolymerization

今回の SPACC29 では懇親会も開催され、久しぶりに対面での交流も楽しみました。最後に、シンガポール国立大学のLi Lu 教授から次回 SPACC30 がシンガポール国立大学(2025年6月5日—7日の予定)で開催されることがアナウンスされて閉会しました。



SPACC29 集合写真



This special issue of Functional Material Letters highlights the latest and most promising advances in functional materials engineered by the pure and applied coordination chemistry, which deals with a wide variety of compounds resulting from donoracceptor interactions at the molecular level. This special issue covers a wide range of functional materials derived from coordination compounds, as well as cases in which the coordination compounds themselves are functional materials. These include artificial biosystems such as bioactive metal complexes and metalloproteins, and promising materials and devices for sensors and light energy applications. This includes functional materials in various fields related to coordination compounds, such as polymers and ceramics. The purpose of this special issue is to promote the design of highly ordered systems containing metal ions and build a sustainable

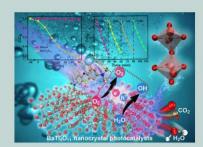
Submission: 1 January 2025 Submission due: 30 June 2025 Publication: October 2025

FUNCTIONAL MATERIALS LETTERS

Volume 18 · Number 6 ·October 2025

Functional Materials Based on and Derived from Coordination Compounds for a Sustainable Society

Guest Editors Hiroki Nagal Mitsunobu Sato





3. SPACC 一般会員および学生会員ご入会のお願い

先端錯体工学研究会(SPACC)会員の皆様におかれましては、常日頃より本学会の活動にご支援・ ご協力を賜り、誠にありがとうございます。学生様につきましてもご入会をお待ちしております。 ご希望の場合、1研究室あたり年会費 1,000 円で、20 名様まで入会・登録していただけます。 SPACC が主催する国際会議において、講演賞・ポスター賞の審査には、必ず学生会員登録が必要 です。

[年会費]

• 個人正会員

替助会員: 50,000 円, 正会員: 3,000 円

· 学生会員 (1 口) 1,000 円

(1研究室で1口につき20名まで)

· 法人会員(1口)

維持会員: 10万円

一般会員: 2万円

振込先: 先端錯体工学研究会

- 振込用紙を用いた郵便振込 0 0 1 3 0 - 7 - 7 7 3 5 4 9
- ・銀行からのお振込 ゆうちょ銀行

(金融機関コード:9900) ○一九店(店番:019)

当座 0773549

*学生会員の場合:

会費の振り込みの際は、担当教員名か研究室 名を、通信欄あるいは振込者名に書き加えて 郵送先 下さい。また、登録学生およびメールアドレ スは、忘れずに事務局宛にお知らせくださ V

[入会手続]

・電子メールによる手続

以下の URL に記載されているフォームをダウ ンロードするかコピーして必要事項をご記入 の上、

jimukyoku@spacc.gr.jp 宛に送信してくださ

個人正会員用: http://spacc.gr.jp/page2e.html

学生用会員: http://spacc.gr.jp/page2f.html

法人用: http://spacc.gr.jp/page2g.html

・郵送による手続

以下の URL に記載されているフォームをダウ ンロードして、必要事項をご記入の上、事務局 宛に郵送して下さい。

個人正会員用: http://spacc.gr.jp/page2e.html

学生用会員: http://spacc.gr.jp/page2f.html

法人用: http://spacc.gr.jp/page2g.html

〒141-8648 品川区東五反田 4-1-17 東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 松村 有里子

4. 今後の行事予定及び事務局からのお知らせ

The 30th International SPACC Symposium (SPACC30)

場所: Singapore (National University of Singapore) 会期: 2025 年6月5日~7日

担当: 佐藤光史、永井裕己 (工学院大学)、Li Lu (National University of Singapore)

詳細は、追ってご連絡致します

2025 SPACC 年会

場所: 琉球大学

担当: 福本 晃造 (琉球大学)

会期: 2025 年度内

詳細は、追ってご連絡致します

共催

Pacifichem 2025 シンポジウム " New Approaches to Large Molecular Architectures "

シンポジウム世話人: Hiroyuki Nakamura; Vladimir Gevorgyan; Andrei Yudin 詳細は、追ってご連絡致します

編集後記

SPACC29 国際会議が、9月に北海道大学で開催されました。実行委員長としてお世話をいただきました佐藤敏文先生、また、佐藤研究室の皆様、本当にありがとうございました。会は概ねプログラム通りの時間で順調に進行しました。当日は、永井先生がお世話されていた、さくらサイエンスのメンバーとして、シンガポールやナミビアからの研究者・学生も発表・議論に参加して頂きました。参加された皆様、ご協力誠にありがとうございました。(桑村)

ニュースレター担当への問い合わせ方法

ご研究紹介等、SPACC ニュースレターへのご寄稿をしていただける場合や、本会が主催または協賛するシンポジウムの情報は、事務局までお気軽にお知らせください.

先端錯体工学研究会事務局 E-mail: jimukyoku@spacc.gr.jp 東京医療保健大学大学院 松村有里子



高速液体クロマトグラフ質量分析計

Liquid Chromatograph Mass Spectrometer

LCMS-8060NX ANALYTICAL INTELLIGENCE



Enhanced performance

Sensitivity and Robustness

- 世界最高クラスの感度と測定速度
- ダウンタイムを最小化する高い頑健性
- ワークフロー全体を効率化する操作性



高速液体クロマトグラフ質量分析計

Liquid Chromatograph Mass Spectrometer

LCMS-2050 ANALYTICAL INTELLIGENCE



SIMPLY EFFORTLESS

LCMS-2050は、装置サイズの大幅な小型化と、分析の高速化・高感度化の 両立を実現したシングル四重極質量分析計です。極限まで小さくなった ボディの中には、島津の技術が凝縮されています。LC検出器としての使い やすさとMSの優れた能力をかけあわせて、完璧なユーザビリティを追求 した質量分析計、それがLCMS-2050です。



LCMS-2050の特長や動画をWebでご紹介





Analytical Intelligenceは、島津製作所が提案する分析機器の新しい概念です。 システムやソフトウェアが、熟練技術者と同じように操作を行い、状態・結果の良し悪しを自動で判断し、ユーザーへのフィードバックやトラブルの解決を行います。 また、分析機器に対する知識や経験の差を補完し、データの信頼性を確保します。

Analytical Intelligence logoは、株式会社島津製作所の商標です。

